

## 第7回天気予報研究会の開催と講演募集のお知らせ

第7回天気予報研究会を下記の要領で開催します。

**日時**：2010年2月5日(金)13時30分～17時30分

**場所**：気象庁講堂（予定）

**趣旨**：近年、いわゆる「ゲリラ豪雨」と呼ばれる降水が頻発し、種々の災害も後を絶ちません。こうした降水現象は時間および空間スケールが小さく、また地形の影響を受けやすいことから、依然として予測が困難な情勢にあります。これらを背景に、気象庁では2009年7月から、降水の実況監視を従来の10分間隔から5分間隔に変更しました。また、来年の出水期から、気象注意報・警報の予報区を、市町村を対象とした区域に変更する計画です。一方、種々の機関で2重偏波を用いた気象レーダーの整備が進められており、民間や大学でも降水予報や研究が行われています。こうした情勢を踏まえて、今回の天

気予報研究会の主テーマを降水現象とします。予測時間で見ると、ナウキャストから12時間程度までの比較的短時間の現象が対象となります。

### 講演申し込み要領：

応募締め切り2009年11月20日(金)

講演者氏名、所属、題目、要旨（400字以内）、連絡先（電話、住所、E-mail アドレス）を添えてお申し込み下さい。

### 申し込み・問い合わせ先：

古川武彦「気象コンパス」

E-mail takefuru@eos.ocn.ne.jp

### 主催：天気予報研究連絡会

運営委員：白木正規、高野 功、登内道彦、富沢 勝、古川武彦（代表）、水野 量、吉野勝美